

平成30年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成31年 3月 28日
研究・研修課題名	認定血液検査技師資格更新試験の受験と資格更新
研究・研修組織名(所属)	石原 智子(検査部)
研究・研修責任者名(所属)	石原 智子(検査部)
共同研究・研修実施者名(所属)	

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	石原 智子(検査部)
学会名(会期・場所、認定名等)	認定血液検査技師
演題名・認証交付先等	日本検査血液学会
取得日・認定期間等	2019.1.1～2022.12.31

目的及び方法、成果の内容

①目的

認定血液検査技師資格は、血液検査分野における高度の学識と技術を有する臨床検査技師の育成を図り、より良質な医療を国民に提供することを目的とした制度である。認定血液検査技師の知識と技術の維持、そしてさらなる向上を図るために実施される更新試験を受験し資格更新を行う。

②方法

認定血液検査技師更新のためには有効期間内に資格審査基準単位を取得することと資格更新試験を受験し合格することが必須となる。資格審査基準単位は取得済のため、今回、第19回日本検査血液学会学術集会(2018年7月21～22日 大宮ソニックシティ(さいたま市)にて開催)に参加し、認定血液検査技師更新指定講習会の受講および更新試験の受験を行い、資格を更新する。

③成果

第19回日本検査血液学会学術集会に参加し、認定血液検査技師更新指定講習会の受講および更新試験受験を行った。学会は「検査血液のアクティブラーニング きて・みて・学ぼう」をテーマに、学会に集った者同士が対面して議論を行い切磋琢磨することが目的とされていた。実際、顕微鏡を挟んで議論する場や症例検討を行う場などが設けてあり、日常の臨床検査にすぐに役立つ情報を得ることができた。指定講習会においては、「形質細胞腫瘍の診断と治療の進歩」や「悪性腫瘍と血栓症」、「新DIC診断基準の評価とDIC診断の問題点」などの講義を受講し、最新の知見を知るとともに知識の整理を行うことができた。

次に、認定血液検査技師更新試験を受験した。試験の範囲は、認定血液検査技師カリキュラムに沿って出題される他に、学術集会時の特別講演、教育講演や認定試験指定研修会の内容や最新の情報に関する問題が出題されていた。結果は合格であり、資格を更新できた。

今回、資格更新を行い、認定血液検査技師として専門性の高い知識と技術を維持することで、付加価値の高いデータを臨床診療に持続的に提供することができ、また、学生や研修医への教育、後進の指導という観点でも有用であると考えられる。

* 認定血液検査技師制度協議会
 認定血液検査技師 認定【2018年12月15日】